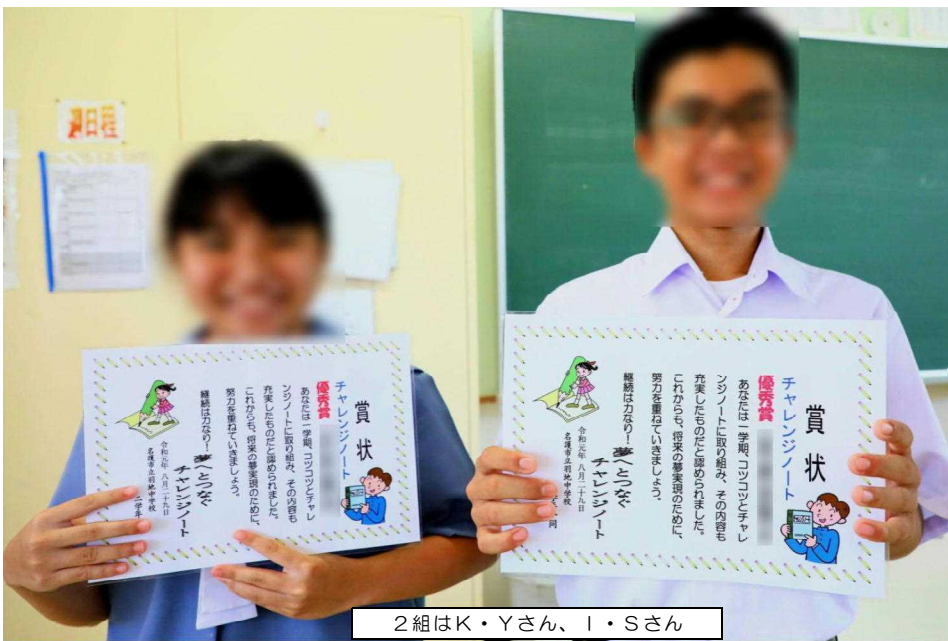


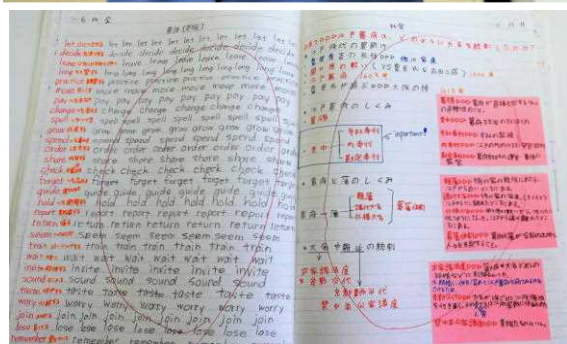
# 成長・貢献・感謝

# チャレンジノートで復習

羽地中学校  
 学校だより 86 号  
 R1. 9. 4



2組はK・Yさん、I・Sさん



チャレンジノートで授業の学びを復習する

2年生は、一学期のチャレンジノート(家庭学習ノート)で意欲的に学習に取り組んだ優秀な生徒を表彰しました。  
 表彰されたのは、2年1組5名、2年2組2名、2年3組2名の合計9名です。  
 学年主任のI・K先生によると、9名は毎日の授業を塾や家庭での学習につなげて学び続け、成績を向上させてきたとのこと。

宿題は、「宿題をやることでその日の学習の復習を行う」ことができます。宿題がなければ、勉強しないというのは、「復習をしない」と同じ事なのです。人間は学習したことをすぐに忘れてしまいますので、授業で学んだことをできるだけ早く復習することで、忘れていくスピードを遅らせることができます。  
 体育や音楽、美術などの技能教科は、繰り返し技能を磨くことで、上達していきます。体と脳の両方で覚えていくので、技能は忘れにくいと言っています。  
 復習が終わったら、できれば予習もやっちゃいましょう。予習をすると授業中に眠くなるという人は、ほとんど課題を進めていきましょ。学習塾では、大体早めに進むからです。自主学习で進みます。



1組はO・Kさん、T・Kさん、T・Gさん、T・Mさん、H・Hさん



3組はM・Sさん、M・Mさん

一つの教科1時間の授業を復習するのに、大体15分から30分。ドリルをやったり、小テストを解いたり、教科書を写本したり、ノートをもう一回書き直して書いたり、単語を書いたり、文法を書いたり、多様に復習できます。そして、ちよいと次の時間に備えて10分くらい予習しておく、授業が驚くほど理解が深まります。こうすれば、一教科50分くらいはあつという間ですね。  
 家庭学習は、復習を中心とします。授業でやったことをもう一度、やってみることなのです。  
 Yさんのノートを見せてもらうと、丁寧な字が並んでおり、落ちていて学習している様子うかがえます。また、何度も復習しやすいうように、付箋紙をうまく活用していました。大切な用語は繰り返し書いて覚える。キーワードを色ペンで区別して脳に刺激を与える、など、家庭学習ノートを復習用として効果的に使い、学びを深めていきたいと思います。